



2018年11月8日

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 松田 憲幸
(コード番号 4344 東証第一部)
問 合 せ 先 管 理 グ ル ー プ
取締役常務執行役員 青山 文彦
電 話 番 号 0 3 - 6 2 5 4 - 5 2 3 1

第2四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2018年5月15日に公表した2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

1. 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,418	478	480	345	5.57
今回実績 (B)	5,743	507	516	398	6.17
増減額 (B-A)	△675	29	36	53	0.60
増減率 (%)	△10.5	6.1	7.6	15.5	10.8
(ご参考)前年同期実績 (2018年3月期第2四半期)	3,920	438	444	327	5.29

2. 差異の理由

当社は9月に初代モデルから大幅に進化した通訳機、「POCKETALK® (ポケットーク) W」を発売しました。昨年10月に初代モデルを発表以降多くの反響がありましたが、最新版は自社開発に切り替え、通信も4Gに対応したことで応答性能、使いやすさ共に向上しました。本製品は市場からの注目度も非常に高まっており、日本経済新聞社が10月に発表した「2018年第3四半期新製品ランキング」ではあらゆるジャンルの製品の中で第1位を獲得しました。

本製品の発売に伴い、昨期に比べ売上は大きく伸びたものの、当初8月の販売予定が9月にずれ込んだことに加え、大型台風が相次いだことで空路での製品輸送に遅れが発生し、9月の入荷数が想定より大幅に減ったことなどから、当初見込んでいた販売台数分の在庫が9月中に入荷されず、売上予想を下回りました。

しかしながら、「POCKETALK W」を自社開発に切り替えたことで原価率が改善したことや、販売費及び一般管理費では「POCKETALK W」の入荷時期にあわせてTV・雑誌・交通広告等の露出期間を見直したことにより、広告宣伝費が当初の見込みほどは発生せず減少し、この結果、営業利益及び経常利益、当初予想を上回る結果となりました。

以上